

# 中国から介護施設を視察

中国から3月21日、中国人2人が来日し、社会福祉法人 達生堂などで介護の現場を視察しています。2人は、西安市の新世紀境外就業トレーニングセンターの職員。約3カ月間にわたって日本の介護現場を勉強し、中国に戻って介護技術などを伝えたり、今後、日本で介護を学ぶ中国の人たちとの橋渡し役を務めるといいます。

2人は、介護老人保健施設「すばる」と通所リハビリセンター「茶釜の湯」で視察をスタート。介護員の動きを見て学ぶ一方、自らも体験したり、介護機器などに触れて熱心に勉強していました。

平成29年3月30日



劉  
穎  
潔  
り  
ゆう・え  
い  
けつ  
さん

1994年1月生まれ。23歳

西安市衛生学校を卒業し、西安市第二病院で看護師として勤務。2012年8月から1年間、茨城県鉾田市で農業の技能実習生として研修。中国に戻り、西安市新世紀境外就業トレーニングセンターで研修生派遣の仕事に従事しています。趣味はバスケットボール。「日本の介護技術や介護機器を視察し、今の日本の介護の世界を学びたい」と話していました。

王  
琪  
おう・き  
さん



1998年1月生まれ。19歳

西安市の戸県電場高校を卒業後、西安市新世紀境外就業トレーニングセンターに就職。

日本のアニメが大好きで、「名探偵コナン」や「進撃の巨人」、「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」が好きといいます。

初めての来日で、「介護でいろんなことを勉強し、何でもできるようになりたい」と意気込みを話していました。